

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0807 名古屋市西区歌里町147番地
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人
コンビニの会

定価/150円
昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第138号



マダガスカル島の子供たちと

音楽は世界の共通語

フォトグラファー 松田マキコ

『♪ぷ〜ぷ〜ぷ〜』首からピアノカをぶら下げて歩く変なおじさんの後をついて行進をする子供達。吹くのをやめるとピタリ!と止まる。それを何回も繰り返し、面白くてしょうがない笑顔の子供たち。マダガスカルでのひとコマ。

言葉は通じなくても、音楽があれば一瞬で友達になれる!

ピアノカ(鍵盤ハーモニカ)が、今ブームになっている。持ち運びが楽で、お値段も手頃。誰でも吹けばすぐに音が出る。日本では、小学校低学年の音楽の授業で使われているので、子供の教具と知っている方も多いだろうが、このピアノカは、何とも奥深い楽器なのである。

吹く息の強弱によって、表情豊かな音楽になるのだ。時にアコーディオンのように情熱的に、ハーモニカのように哀愁を誘い、歌のように優しく語りかけ、聴く人の心を動かす。

(次頁へ)

そんなピアノカをプロのミュージシャン達が真剣に取り上げはじめている。写真の松田昌さんもそのひとり。

夢中になって吹いているうちに、たくさんの奏法を編み出し、曲集を出版し、CDも出しているのだ。

そして、東京・名古屋・大阪では、ピアノカ教室へ通う大人の生徒たちで賑わっている。

因みに、ピアノカを吹くことで、肺が丈夫になり、指を動かす事で、脳の活性化につながるので、高齢化の現代には最適！な楽器かもしれない。

押入れにしまい込んでいるピアノカを引っ張り出して、手にとって吹いてみては、いかがでしょうか！？



イースター島 モアイ像の前で

雑記 ごまめの歯ざりし

働き方改革

昨年の12月から名古屋への野菜の配達を減らして、週一にした。これまで、最大週4日野菜を売りに行っていた時から思うと大幅削減！売ることばかり先走って、だんだん自分の野菜の栽培がちゃんとやりきれてないことを痛々しく思えてきて、このままでは農家として先がないと感じての判断。まだ半年経たないくらいだけど、これまでとは比較にならないくらい野菜に手がかけられる気がする。

今までは昼間作業して、夕方から夜配達に出かけてそれなりのリズムを持ちながらも不規則な生活。それが今では配達の日も夜ご飯には帰ってこれて、ほぼ毎日規則的なリズム。そんな余裕からか、ただの好奇心か、鶏を自分たちの卵用にと飼い始めてしばらく経つけど、今年から販売目的に増やしていくことにした。一応、【食卓をそろえる】を夢にしているからこれもその一つ。

そしてつい二週間前、突如ミツバチも僕の視野に入ってきた。一宮市でニホンミツバチを飼ってるおじいさんが、どうにか若い世代に引き継ぎたいと口説いたのが僕のお客さんと、「僕の家の周りに巣箱を置かせてくれないか」と、おじいさんと実際に見に来た時に、「君も飼ったらどうだ!」「全部教えるから!」と、えらく熱弁。おじいさんの勢いと自分のワクワク感に押され、始めることに。といっても、まずは野生のハチを獲るところから。桜が散ってから、6月ごろまでに分蜂する群れを仕掛けた巣箱へ生け捕りにするようだ。

家の前の神社の森にはどうも来そうな気配をおじいさんは感じるみたいで、大興奮。とりあえず巣箱を借りてきて。先週からその森に仕掛けています。

だんだん減っているというニホンミツバチ。ちよつと聞いたんだけど、蜂の世界もとても興味深く、これからの生き方にも通じるような気もする。しかし、ハチミツまで。僕の働き方改革もよっぽどいいもんだ!

2019年度

生活支援部方針について

生活支援部 現場総合主任

榊原 芳典

次に掲げる3つを【重点目標】としました。

① 職員の採用と定着

② 中期計画（5年後）、長期計画（10年後）

の策定

③ 介助者とは何かを考え、育ち合う

まず、職員の採用と定着についてです。前年度、生活支援部では3名の常勤職員の退職がありました。また、現在働いている職員も長時間勤務や、夜勤の増加等で肉体的、精神的負担を抱えています。こうした状況を打開

する為、職員採用と働き続けられる職場作りを職員全員で共有したいと思っています。

この春、活動中の学生ヘルパーから、知人をエゼル福祉会に紹介したので見学会を行ってほしいという申し出がありました。見学にきた学生から、他の事業所でヘルパー活動をしていたが、エゼルは職員が丁寧に教えてくれると、周りの学生から聞き興味をもったそうです。

活動している学生ヘルパーへの丁寧な働きかけや、大学のゼミ訪問を繰り返すなかで、エゼル福祉会の活動と、そこで働く職員の姿勢が徐々に伝わり、共感を得ているように感じました。この数年、学生ヘルパーとの結びつきが希薄になっていたため、この流れを止

めずに推し進めていきたいです。

次に、現在支援を行っている利用者、家族から、生活支援や暮らしの場を求める声が多く寄せられています。新施設では短期入所事業の拡充を予定していますが、平行して5年後、10年後を見据えた事業計画を策定し、利用者、家族と一緒に準備を進めていきたいと思っています。

三つ目は、介助者についてです。若い常勤職員やパートヘルパーが増加していることに加え、支援現場の個別化が進み、介助者個々が介助者として「優れている」、「質が高い」の意味を履き違える可能性を危惧しています。

エゼル福祉会が目指す介助、支援を理解し、

実践できる介助者を育成できるよう、法人の理念や、先輩職員の経験を言語化して伝えていきたいと思っています。

最後になりますが、私が生活支援部を取りまとめるようになってから3年余りが経ちました。年を重ねるごとに、職員一人一人の成長を感じ、頼もしく思っています。

若い職員が多い集団で、うまくいかないこと、間違えてしまうことは日々あります。それでも失敗から学び、僅かずつですが着実に事業を前進させていきたいです。



新年度のスタート

通所部 W I L L サービス管理責任者

寺澤 慶英

今年日本国民としても元号が変わるといふ、歴史上においても大きな区切りでもある年です。ふりかえれば平成の時代もいろいろなことがありました。これから先の令和の時代がいったいどんな世の中になるのかと期待と不安の両方があります。さてそんな新時代の幕開けの年は、エゼル福祉会にとっても大きな変化の歳となります。

法人本部や短期入所、相談支援事業などを

併設した新施設が完成しました。4月に引越しを済ませ、6月からはいよいよ通所施設（生活介護施設 V O L O (ヴォーロ)）も開所し動き出します。V O L Oの開所を踏まえ、今年もまた4月から2名の特別支援学校卒業の仲間を迎えましたが、元々狭いことが問題になっていたW I L Lは人数が増えて更に狭くなりました。それでも毎日を賑やかにW I L Lでの日々をすごしています。

6月になると新施設V O L Oの開所で11名の利用者が異動し、赤城町のW I L Lには13名の仲間がのこります。V O L Oへ行く利用者さんや職員は、新しい環境に早くなれること、元気で安全に通所を重ねていけるように1年かけてじっくり、取り組んでいくこ

となります。WILLについては、3つの重点目標を掲げ、取り組んでいきます。

1. やりがいのもてる作業・活動の場をつくります。

授産事業の安定は長年の課題であり、これまでなかなか整理できませんでした。新しい施設に併設される地域サロンでのお菓子の販売に期待して、安定的な工賃の支給を目指します。

2. 自主性を育み、できることを重ねて自信をつけていける場を目指します。

利用者の得手不得手や個性を改めて確認し、やってみたいという気持ちを大切にしていけるようにすすめていきます。また自分にできることが他の誰か

の役に立つことで、お互いに気にかけてあげるように集団の中での役割もどんどん工夫してつくっていききたいと思っています。

3. 地域社会とのつながりをふかめ、お互いが知り合える取り組みをすすめていきます。

最近では町内会の方もよく声をかけて下さるようになっていきます。ふらっとお菓子を買いに来ってくれる方もいらつしやいます。今年も町内の活動に参加したり、WILLでの活動を通じて関わることもっと関心をもってもらえる人を増やしていきたいと思えます。

昨年度末から職員も入れ替わりがあり、課題も多く、不安もありますが、この一年を大きなチャンスと考えていきたいと思っています。

エゼル福祉会のロゴマークができました！

● ロゴマークの解説 ●

3つの柱は利用者さん、ご家族、エゼル福祉会を意味し、それをとりまく輪は地域社会を示しています。地域社会とともに暮らしながら、利用者さん、ご家族、エゼル福祉会の三者すべてが笑顔でいられるように「三方良し」のねがいを込めています。三者のうちひとつを「ご家族」にしてあるのは、エゼル福祉会の事業がご家族の負担を減らし、より利用者さんにご家族が自分らしい生活ができるようにするという役割を意識しています。



※モノクロですが、本来はカラーのロゴマークになります。

VOLO歌里 完成式

日 時：2019年5月14日（火） 11：00～

場 所：社会福祉法人工ゼル福祉会 VOLO歌里 名古屋市西区歌里町147番地



～ 完成したVOLO歌里 ～

～ 理事長挨拶 ～



～ 感謝状贈呈 ～

（左）株式会社 加藤建築事務所 （右）滝藤建設株式会社



～ 来賓挨拶 ～

(左上) 名古屋市健康福祉局 障害福祉部長 戸松 正隆様
(右上) 名古屋特別支援学校 教頭 岩佐 龍次様
(左下) 社会福祉法人 愛光園 理事 廣瀬 治代様
(右下) 大野木学区区政協力委員長 大塚 春行様



～ 通所部代表挨拶・職員紹介 ～



～ 会場内の様子 ～

～ 完成式後、ヴァイオリン演奏がありました ～
奏者：古井 麻美子様

6月のVOLON開所に向けて

通所部 坪内 美紀

4月から新しい仲間が2名増え、WILLはとても賑やかになりました。

リラクグループには普段は眠そうにしているけど、みんなの声を聞くと楽しくていつもニコニコと時には嬉しそうに「あー」と声を出してくれるTさん。パソコングループにはいつも元気で明るく、月曜日に出勤すると「早く金曜日になれー」と言ってはみんなから「まだ早いよー」とつつこまれて楽しそうにしているKさんが入りました。2人は3月に名古屋特別支援学校を卒業したばかりですが、緊張も段々取れてきて2週間たった今ではすっかりWILLの一員です。

新しく看護師2名、生活支援員1名が増

え、育休明けのスタッフも戻り、支援する側もとても手厚くなりました。看護師が3人になったことで、チームとして動けるようになり、VOLONに必要な物品や医療ケアの必要な方への支援についての話し合いも進めている最中です。

いよいよ6月にはVOLONとWILLにスタッフと仲間が分かれるので引継ぎ等も、分かれるスタッフ、仲間に合わせて進めていきます。仲間対応だけでなく、製菓やパソコン、軽作業等の各グループの業務の引き継ぎや、軽作業グループでは商品の検品方法や納品先とのやり取り等も新しいスタッフに引き継いでいかなければならないので、毎日がてんやわんやの状態です。

年度末に慣れ親しんだスタッフとの別れがあり、4月からの新しい環境に馴染めない仲間もいます。トイレに鍵を掛け閉じこもり「きらいだー」と叫ぶAさん。スタッフが声をかけてもなかなか出てこれないけど、仲間が声をかけることで、すぐに鍵を開けて出てきてくれます。言葉には出せない不安な気

持ちをアピールしています。落ち着かない中でも新しい環境に慣れようと頑張っている仲間もいて、スタッフと仲間が協力して変化に立ち向かっています。

4月1日の入所式の際、午後にみんなでVOLONまで散歩に行きました。「近くにあるから歩いてでも行けるね」や「こんなに大きいのが出来たんだね」、「一緒に活動出来る日があるといいな」という前向きな声が出てきました。仲間が中に入るのは5月の中旬くらいになると思いますが、「入れるようになったらみんなで探検をしたいね」と話しています。

VOLONを建設することが決まった頃はまだまだ先の話だと思っていました。あつという間に6月が来てしまうことに驚いています。介助方法や業務の引き継ぎ、活動内容をどうしていくのか等、まだまだ課題は山積みですが、通ってくれている仲間が楽しいと思える場所になるようにひとつひとつクリアしていければと思います。

新施設VOLO歌里募金 現状報告

集計期間 3月1日 ~ 4月30日
4月30日現在 募金累計額 9,249,340円

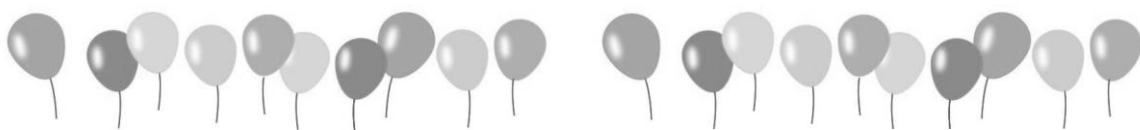
本田 章子
辻本 道子
長谷川 泰史
福永 典子
外山 栄子
高橋会計事務所
伊奈 晶子
渡邊 治子
近藤 直子
福山 孝子
皿井 寿子
安藤 沙恵
荒井 一昭
棚瀬 さおり
北川 朋子
高田 徳雄
森 英一
服部 美香
平田 陽子
藤橋 脩
新谷 安男
高村 健士
青木 政治
中島 温子
國井 隆榮
高木 篤司
大島 伊久代
中谷 和代
木本 繁實
山口 恵美子

水野 雄大
東名メンテナンス
大西 美知代
えびす歯科 黒木 豊
神谷 佳広
丹羽 正子
三村 幸子
大川 美知子
吉田 まつ子
重森 隆子
渥美 弥
棚野 友美
山田 留美
越智 章仁
山川 ひとみ
松岡 香代
中井 香代子
前田 紀子
渡邊 覚

(敬称略・順不同)



寄付を頂いた皆様
ありがとうございました



《活動状況》

3月

- 1日 理事会
- 4日 審査会 (榊原)
- 8日 生活支援部主任会議
工程会議 (大川・榊原・溝口・野村・坪内)
審査会 (渥美)
- 9日 評議員会
- 14日 通所赤城会議
- 15日 通所歌里会議
自立支援協議会 (寺澤)
- 18日 審査会 (榊原)
北東ブロック会議 (佐藤)
- 19日 給食クックチル研修 (桑名・奥村)
- 20日 会報発送
- 21日 WILL 祝日開所
- 22日 通所主任会議
- 26日 名古屋市集団指導
(榊原・溝口・渥美・久野・水谷・寺澤・有満)
通所全職員会議
- 28日 WILL 親の会
きょうされん会議 (佐藤)

4月

- 1日 WILL 入所式 (小出さん・滝川さん)
- 2日 きょうされん会議 (佐藤)
- 3日 会報会議
設立委員会 (寺澤・坪内)
- 5日 通所主任会議
- 9日 通所赤城会議
- 12日 生活支援部主任会議
通所歌里会議
- 14日 春ののびのび講座 (鬼頭・土田)
- 15日 北東ブロック会議 (佐藤)
- 17-19日 中小田井→歌里へ備品移動
- 17日 通所主任会議
- 18日 暮らしの場交流会 (渥美)
- 19日 名古屋市実地検査(ショート)
- 23日 新入社員オリエンテーション
自立支援協議会相談支援部会 (有満)
審査委員研修 (渥美)
- 25日 WILL 親の会

重度訪問介護従業者養成研修のご案内

重度訪問従業者養成研修を下記の日程（全日程3日間）で開催いたします。
身体に障害のある方の支援ができる資格です。福祉の現場に関心がある方、経験を将来に活かしたいと思われる方に、受講をおすすめします。資格取得後は、ヘルパーとして活動できます。この機会に福祉の現場をのぞいてみてください。

◇ 日程 講義/実習 全日程3日間 土曜日コース

2019年 6月1日(土)・8日(土)・15(土) の3日間

◇ 開催場所 社会福祉法人エゼル福祉会 VOLO 歌里 研修室

◇ 受講料 10,000円

◇ 定員 15名(先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◇ お申込み・お問い合わせ 下記メール、または電話FAXにて受付いたします。

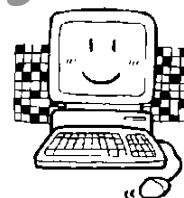
✉ convini@beach.ocn.ne.jp ☎・Fax 052-505-6082 担当 事務局 岩崎

愛知県承認指定講座 事業所番号 愛障137号



↑
ホームページ URL
は
こちらをスキャン

事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

3月～4月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方
東名メンテナンス

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

石原まち 辻本道子

(WILL)

満田ひかり 浅野央裕
早川佳乃 大野香緒里
北島ゆり香 磯部常光

★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

石原正寅 土田京加 辻本道子 黒田隆広
藤本菜見 石原まち 村上梨央 楠村ゆき
鬼頭優菜 伊藤翔磨 松本浩希 奥村 修
星野恭兵 和田遥香 鈴木千春 寺西 剛
山川尚輝 田邊利徳 森岡佳乃
酒井まみ子 近藤友紀子
藤本由紀子 茂手木利典

(WILL)

須田たみ子

(VOLO歌里 完成式)

藤田ますえ 野崎百合子 神谷登志子
岡田節子 森田美津子 山田久美子
佐藤美紀子 半田素子 高嶋みえ
小出美穂 石原雅織 中谷和代
浅井潤子 長谷川友子 古井麻美子
安永秋憲 川島秀信 ウィル親の会

★ 会報発送ボランティア

佐藤美紀子 半田素子
吉田嘉子 丹羽正子

認定 NPO 法人イーパーツ様より

ノートパソコン1台とモニター2台を寄贈していただきました！

2019年2月16日に名古屋市市民活動推進センターにて寄贈式が行われました。
Windows7が2020年1月14日までサポート期限となっています。最新のWindows10の
ノートパソコンを寄贈していただいて大変助かっています。
パソコンのモニターも調子が悪かった2台を寄贈していただいたモニターに交換しました。
パソコンを寄贈していただいたお蔭で職員の事務作業効率も上げることができます。
リユースされたパソコンを最大限に活用し、大切にに使わせていただきたいと思います。
誠にありがとうございました。



寄贈の様子



大切にに使わせていただきます！

【銀行口座】

三菱UFJ銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108
特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】 番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

〒452-0807 名古屋市西区歌里町 147 番地

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

URL <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

E-mail convini@beach.ocn.ne.jp



コンビニの会

理事 宮川 優子